

こっこめ通信 06 2019

「いつもと違うGW」号

八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

超大型連休が終了しました。八丈ビジターセンターの来館者は10日間で2,597名を数え、近年にない盛況となりました。ゴールデンウィークの行事も10連休に合わせて変更し、単発の行事は「八丈富士ハイキング」のみ、他に4月28日から5月6日までの毎日、「バードウォッチング入門」「体験八丈太鼓」「特別ガイドウォーク」の3件の行事を連続で実施しました。そこで今回は、いつもと違うゴールデンウィーク特別行事の報告です。

八丈富士は大賑わい！

「八丈富士ハイキング」4月29日（月）

伊豆諸島最高峰、八丈富士の頂上を目指す恒例行事です。今年の参加者は12名でした。

簡単なコース説明と注意事項を伝達後、路傍の植物などを観察しながら頂上を目指しました。

頂上三角点を経て、火口の縁を一回りするお鉢巡りコースを一周して昼食。

火口内の雲霧林を歩いて浅間神社へ詣り、陥没火口（小穴）の底の植生を観察してから下山しました。

今年は他の登山者が多く、登山口の駐車スペースも満杯。

これほど賑わっている八丈富士は解説員も初めての経験でした。

お鉢巡りのコースでは、一人分の幅しかない登山道ですれ違いや追い越しが起こり、少しだけ緊張する場面もありましたが、小学1年生の女の子も足場の悪いお鉢巡りコースを頑張って踏破してくれました。（T.K.）



ビジターセンターの駐車場から撮影した写真でも火口の縁に28名の人影が確認できます。

中央の頂上付近に見えるのがビジターセンターの一行です。（左側の空にカラスが飛んでいるのも見えます）



八丈小島を見下ろしながら歩く天空の道



火口の内側に向かって突き出すおかしな形の岩

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

毎日の行事也大盛況！

期間中毎日、連続で3つの行事を実施するのは初めての試みで、どうなるのか心配でしたが、無事に開催することができました。午前中に「バードウォッチング入門」、午後には「体験八丈太鼓」と「特別ガイドウォーク」を実施し、バードウォッチング入門は9回で40名、特別ガイドウォークは6回で34名、体験八丈太鼓は7回で225人、合計参加人数は311名と昨年の倍以上に達しました。ご参加頂いた皆さん、有り難うございました。

バードウォッチング入門

まず館内で双眼鏡の使い方や双眼鏡に鳥を入れるコツなどを伝授。その後、園内で見られる野鳥の姿や鳴き声など確認し、フィールドに出発です。目標は「全員1回は双眼鏡で鳥を見て観察する事！」小学1年生の子供も含めて参加者全員、目標を達成することができました。

今年はアカコッコ遭遇率は低かったですが、巣作り、子育て中の鳥を多く観察する事ができました。



4月28日の日曜日の様子です。この日はとてもいいお天気で、きっと八丈富士にはたくさんの人が登っているに違いない！と、双眼鏡の練習を兼ねて覗いてみました。思惑通り、たくさんの方がお鉢巡りをしているのが見えました。(M.K.)

特別ガイドウォーク

普段よりも大人数のガイドウォークで、賑やかに出発し、島の歴史や植生、園内の植物の解説、質問タイムを作ったりしながら、園内を散策しました。天候の悪い日もありましたが、雨に濡れて生き生きした植物の様子や温室の珍しい植物達を解説しました。

皆さん、濡れながらも楽しそうに解説に耳を傾けてくれました。

開催日9日間の内、残念ながら参加者なしの日もありましたが、天候の良し悪しや観光客の移動日も関係していたようです。



これからの時期に大きくなっていく八丈島特産のヤブニッケイもち病菌。この不思議な形をした物体を解説している様子です。「気持ち悪い！！」とか、各々で感想を話しながら、みんなで観察しました。(R.O.)

体験八丈太鼓

八丈太鼓は両方から叩き合う両面打ちが特徴です。

片方が一定のリズム（下拍子）で連打し、もう一方が即興的なリズム（上拍子）で自由に叩きます。両面のリズムがあうととても心地良く響きます。

太鼓の音色に誘われて次々と、バチをにぎってドンドコドン！思い思いの八丈太鼓を叩いていました。雨で二回は中止になってしまいましたが、たくさんの人に八丈島の文化に触れてもらえたかなと思います。



テンポ良く叩く子供達は、ゲームの太鼓の達人で叩き慣れているようで、下打ちに負けずリズムカルに叩いていました。小さな子供もバチをにぎり、手を伸ばして夢中で叩いていました。子供から大人まで皆、笑顔で楽しそうでした。(M.H.)

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は5月12日に行いました。

八丈植物公園季節調査（2019年第5回）参加者・鶴沢,VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			33	チチコグサ	実	7	ガクアジサイ	花、咲き始め
1	アオスゲ	花	34	チチコグサモドキ	実	8	カジイチゴ	実
2	アオノクマタケラン	蕾	35	ツボミオオバコ	花	9	クワ sp.	実
3	アシタバ	実	36	ツメクサ	花	10	テイカカズラ	花、咲き残り
4	アツバスミレ	花	37	トウバナ	花	11	トベラ	若い実
5	イヌガラシ	実	38	トキワツユクサ	花	12	ハゼノキ	蕾
6	イワニガナ	花	39	トキワハゼ	花	13	ヒサカキ	若い実
7	ウスベニチチコグサ	花	40	ナギナタガヤ	花	14	ヒメユズリハ	花
8	ウスベニニガナ	花	41	ニワゼキショウ	花と実	15	ホウライカズラ	実の虫こぶ
9	ウラジロチチコグサ	花と実	42	ヌカススキ	花	16	マサキ	蕾
10	オオシマカンスゲ	実	43	ヌカボ	花	17	モッコク	蕾
11	オオニワゼキショウ	花と実	44	ノゲシ	花	18	ヤブニッケイ	蕾
12	オニタビラコ	花と実	45	ハナイバナ	花	19	ヤマモモ	若い実
13	オヤブジラミ	実	46	ハハコグサ	花	シダ植物		
14	オランダミミナグサ	実	47	ハルジオン	花	1	アラゲヒメワラビ	
15	カタバミ	花と実	48	ヒナギキョウ	花	2	イシカグマ	
16	カニツリグサ	花	49	ヒメコバンソウ	実	3	イノモトソウ	孢子葉
17	カモジグサ	花	50	ヒメヨツバムグラ	花と実	4	オオタニワタリ	新葉が展開
18	カラスノエンドウ	実	51	フウトウカズラ	花	5	オニヤブソテツ	
19	キランソウ	花	52	フタバムグラ	実	6	タチクラマゴケ	
20	コケミズ	花	53	マツバウンラン	花と実	7	タチシノブ	孢子葉
21	コケリンドウ	花	54	ミゾイチゴツナギ	実	8	タマシダ	
22	コナスビ	花	55	ムシクサ	花と実	9	ナンカイイタチシダ	新葉が展開
23	コバンソウ	実	56	ムラサキカタバミ	花	10	ノキシノブ	
24	コメツブツメクサ	花	57	ヤエムグラ	実	11	ハチジョウウカナワラビ	
25	コモチマンネングサ	花	58	ヤマヌカボ	実	12	ハチジョウシダ	
26	シチトウスミレ	実	木本			13	ヒトツバ	孢子葉が開く
27	シロツメクサ	花	1	アカメガシワ	蕾	14	ホシダ	
28	シロバナマンテマ	花と実	2	イタビカズラ	実	15	マメヅタ	
29	スズメノヤリ	実	3	イヌビワ	実	16	ミゾシダ	
30	タチイヌノフグリ	花と実	4	エノキ	若い実	今回はシダ植物 16 種を含む 93 種の植物を観察しました。		
31	タネツケバナ	実	5	オオシマザクラ	若い実			
32	チガヤ	実	6	オオバヤシャブシ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「オグロシギ」にスポットを当ててみたいと思います。



オグロシギ *Limosa limosa*

チドリ目シギ科。島には稀な旅鳥として渡ってきます。5月2日に確認したのが10年ぶりの記録でした。図鑑で調べてみると、「飛翔時の翼上面には白帯が良く目立つ」とあります。飛翔シーンを見たいと思いもう一度行きましたが、どこかへ飛んで行ってしまった後でした。いつまた島に来てくれるかわかりませんが、その時には飛んでいる姿をじっくり観察してみたいです。（H.S.）

2019 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
						1 ガイドウォーク
2 ガイドウォーク	● 3	4	5	芒種 6	7	8 ガイドウォーク
9 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	☾ 10	入梅 11	12	13	14	15 ガイドウォーク
16 ガイドウォーク	○ 17	18	19	20	21	22 ガイドウォーク 八文学講座 「海浜植物観察会」
23 ガイドウォーク	24	☾ 25	26	27	28	29 ガイドウォーク
30 ガイドウォーク	この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります					

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
6/9 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座 「海浜植物観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は海岸の植物を観察します。海岸ならではの植物とは？
6/22 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
現地 集合・解散(当日決定、予定：底土海岸) 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2019.6.1 第217号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888